

受身表現について

—日本語との対照から見た考察—

藤 田 昌 志

关于被动表现
—通过日语被动表现的对照进行考察—

FUJITA Masashi

【提要】

日语被动表现的范围比汉语被动表现要宽泛一些。比如汉语被动表现不限于使用于对“受事者”或“说话人”来说为“不愉快”“受损害”的事情。日语被动表现和汉语被动表现哪里对应、哪里不对应，本研究将就这个问题从把日语翻译成汉语的角度进行考察。具体地说，以三本现代日本文学作品及其汉语作品作为资料进行考察。特别是对以下的语言事实进行了揭示：①日语被动表现对应汉语被动表现的情况：②日语被动表现不对应汉语被动表现的情况。

キーワード：受身表現 非受身表現 主客転換(日→中) モーダル 非モーダル

1. 先行研究・関連研究について

日本語の受身は直接受身と間接受身に分かれる。直接受身は、能動文における他動詞の直接目的語または間接目的語を主語にするものである。(ex. 私は先生に怒られた。／私は人からプレゼントをされたことがない。) 間接受身は間接的に影響（ふつうは主語から見て悪影響）を被るものを主語に立てる表現であり、通常、主語は人間である(ex. 私は電車の中で知らない人に足を踏まれた。)。さらに日本語の受身には「迷惑（被害）の受身」(ex. 雨に降られる。／子供に泣かれる。)と呼ばれる自動詞が受身になるものがある。

中国語の受身については既に次のような基本的、示唆的な考え、説明がある。

““被”字句主要用来表示一个受事者受到某种动作行为的影响而有所改变。其中最常见的是用于对受事者或说话者来说是不愉快、受损害的或失去了什么的情况”⁽¹⁾。“被”字句は主

として、「動作の受け手」や「話し手」にとって「不愉快」や「損害を受けたり何かを失う状況」によく用いられるとしている。

“我们认为，如果把汉语被动句所表达的“被动”这一概念理解为“以受事为视角（perspective）叙述意外事件的发生”（以下记为〔意外事件〕），就可以对汉语被动句的形式和意义之间错综复杂的对应关系作出较为合理的解释”⁽²⁾。“被动”とは“受事”を“视角”とした“意外事件”の叙述であると理解できるとする考えである。

“汉语被动句使用得不如常见外国语多，这是为什么？”⁽³⁾。中国語の受身文は他の外国語より使用頻度が低いのはなぜだろうかと疑問を呈する。

“And the stricter constraint on passivizability in Chinese than that in English accounts for the fact that **the prototypical passives in Chinese occur much less frequently than in English.**”⁽⁴⁾。中国語の受身文が他の外国語より使用頻度が低い理由は中国語受身文の厳しい制約に求められる。

“不能用作“被”字句谓语的动词比“把”字句要少些，主要有“是”、“有”、“在”、“当”、“像”、“属于”、“得”、“起”、“接近”、“离开”、“依靠”、“产生。”⁽⁵⁾“以下的动词在我们的中介语语料库中显示，并不适用于被字句：敬重、写、上当、做、射、破坏、破灭、揭露、整容、创造、灭亡、跨过、洗、改变、沦陷、受害、考取”⁽⁶⁾。“被”字句に使えない述語の動詞は“把”字句のそれより少なく、“是”、“有”、“在”などがある。

日本語の受身は中国語の受身表現より範囲が広い。しかし、中国語の受身表現も“受事者”や“说话者”にとって“不愉快、受損害”を表すのに用いられるだけでもない。日本語と中国語で受身表現はどのように対応し、またどのように対応しないのか。まず、その**形の面での対応、不対応**について基礎的な調査、考察を行ってみたい。本稿では日本語受身表現→中国語表現の方向で考えて、今回は三冊の現代日本文学作品（いずれも流行作家の作品ないしはベストセラーとなった作品、三種を選定した。それだけ、用例はそうでない作品より一般性、客観性が高いと考えられる。）とその中国語訳を資料として、考察してみることにする。今後は新聞の記事や評論文など異なったジャンルのものについても資料として調査し、考察する必要があるであろう。次に **2. 受身（日）が受身（中）になる場合と非受身（中）になる場合**について、**2-I. 受身（日）が受身（中）になる場合(320)**（（）内の数字は用例数を表す。以下、同じ。）と **2-II. 受身（日）が非受身（中）になる場合(647)**に分けて考察する。（Ⅲ. 非受身（日）が受身（中）になる場合Ⅳ. その他については、紙幅の関係もあり、今回は考察対象としない。）

2. 受身（日）が受身（中）になる場合と非受身（中）になる場合

2- I. 受身（日）が受身（中）になる場合（320）

I	順位	中国語表現		『変』	『ホ』	『鹿』	計	%
受身 (日) ↓ 受身 (中)	1	“被”字句	非“我被”型	52	13	97	162	50.6
	2		“我被”型	59	35	23	117	36.6
	3	意味上受身文		6	2	5	13	4
	4	“挨”		8	2	1	11	3.4
	5	“遭”		5	2	1	8	2.5
	6	“受”		1	1	3	5	1.6
	7	“让”		3	1	0	4	1.3
計				134	56	130	320	100

以下のものに分かれる。（多い順に述べる。）

○ “被” 字句になる場合（279. 用例数を表す。以下、同じ。）

2- I. 1. 非 “我被” 型（162）

「部屋の七割がコンピューターと周辺機器で占められ、～」『変』47（＝『変身』）→「房子里七成的空间被电脑和相关机器占据，～」《変》（＝《変身》）26（書名の後の数字は頁数を表す。以下同じ。），「インタビューと呼ばれるテスト」『変』168→「被称为“采访”的测试」《変》99，「洗った服が風で飛ばされる心配もなく、～」『ホ』57（＝『ホームレス中学生』）→「不用担心洗完的衣服会被风吹走，～」《无家》（＝《无家可归的中学生》）57，「許された一膳のお米を食べる」『ホ』143→「～，吃一碗被允许吃的米饭。」《无家》147，「何でも遅刻を三度すると、学年主任に呼び出され、校則をレポート用紙に書き写すことを命ぜられるらしい」『鹿』（＝『鹿男』）21→「好像是迟到三次，就会被学年主任叫去，被罚在稿纸上抄写校规。」《鹿》（＝《鹿男》）17。日本語の主語が「私」でなく、それに対応して中国語も主語が非 “我被” 型になっているものである。日本語の受身と中国語の受身は対応している。

2- I. 2. “我被” 型（117）

「彼女に連れられて～」『変』89→「我被她领到～」《変》51，「急に何か質問されても、～」『変』23→「突然被问到什么，～」《変》12（翻訳調が市民権を得た例），「校内アナウンスで、僕だけ職員室に呼ばれた。」『ホ』80→「只有我一个人被学校广播叫到教师办公室。」《无家》83，「リチャードが教頭になったから、席が一つ空いて、僕が歴史の教師として雇われたわけです」『鹿』77→「后来他升上了副校长，空出了一个

位子，我才被聘请来当历史老师。”《鹿》67。日本語の主語が「私」で、それに対応して中国語も主語が**“我被”型**になっているものである。非**“我被”型**が**“我被”型**より40%近く多いのは、今回、調べた結果であるが、今後、事例研究として他のジャンルの翻訳を多く調べることによって、より客観性の高い結果が得られるであろう。「質問される」→“被问到”などは20年以上前に台湾の直訳調の訳本で見かけたものが、今では大陸の訳本でも普通に見受けられるようになった例である。2-Ⅱ-1.「主客転換^{しゅかく}」になる場合で後述するように“問”、“问到”となる場合もみられる。本来は「主客転換」の方が普通の表現である。その使い分けには日本語の「名詞のランキング」（後述）が大きく関係していると考えられる。

○ “被” 字句にならない場合

2-I. 3. 意味上の受身文（中）になる場合（13）

「皿が引き上げられ、次々に料理が運ばれてきた。』『変』270→“空盘子被撤下，菜一道接着一道地送上来。”《変》163，「すべての鍵はあの若者に握られていた。』『変』351→“所有的关键都捏在他手上。”《変》214，「～、そこにはいつだって警察が含まれているんだ。』『変』356→“～，警察也总包括在其中。”《変》217，「(頬を両方から挟まれ、口を開けざるをえなくなった。)再びウイスキーが注ぎこまれる。(ウイスキーが空になると、今度はブランデーだ。)」(臨場感を出すために「注ぎ込まれる」と表現しているが、実際は「注ぎこまれた」と同じ意味の表現。歴史的現在(historical present)の用法。前後の表現を見ると理解できる。』『変』365→“威士忌又灌了上来。”《変》223，「枕元のファンタは直射日光に晒されていた。』『ホ』14→“放在枕头边的芬达就暴晒在直射的阳光下。”《无家》14，「その甘い考えはすぐに払拭された。』『ホ』16→“这种天真的想法立刻就破灭了。”《无家》16，「面の広いメガネの向こうから、冷たい怒りの視線が堀田に注がれていた。』『鹿』31→“冰冷的愤怒视线从他大镜片的眼镜底下，投射在堀田身上。”《鹿》27，「サンカクは大会に優勝した学校に授けられる」『鹿』166→“三角领给夺得冠军的学校。”《鹿》146。「意味上の受身文」は「提題」とそれについての「叙述」の面から今後、考察していく必要があると思われる。

2-I. 4. “挨” になる場合（11）

「正直いうと叱られるのが怖いんです。』『変』28→“老实说也怕挨训斥。”《変》15，「女の子を助けようとして、撃たれたわけだ。』『変』108→“～，是想去救小姑娘才挨了枪。”《変》63，「それとも一方的に殴られたのだろうか。～」『変』112→“或者光

是挨了打？”《変》66。

2-I. 5. “遭”になる場合 (8)

「それをすれば、もっと妙な目で見られるに違いないのだ。」『変』18→“～，那肯定更要遭白眼。”《変》9，「銃で撃たれる前の脳」『変』99→“遭枪击前的脑”《変》58。

2-I. 6. “受”になる場合 (5)

「～、すぐに注目されて」『ホ』178→“～，就会马上受到瞩目～”《无家》187，「～、無意識の結果を褒められたところでうれしくも何ともない」『鹿』83→“但无意识的动作受到夸奖，我并不觉得高兴。”《鹿》73。“挨”“遭”と異なり“受”はプラス評価、マイナス評価両方に使用できるのだが、今回、調べた結果では現実にはそれほど多く使用されていない。「理」性的認識としては存在するが、具体的「事」実としては少数例しかない類型に属するものである。

2-I. 7. “让”になる場合 (4)

「このような内面を決して彼女に気づかれてはならない。」『変』104→“这样的内心活动决不能让她察觉。”《変》61，「舐められたくない～」『ホ』181→“不想让人看扁的～”《无家》191。

“叫”の例が今回、調べた結果ではないのが、驚きであった。中国語の初級文法で“被”“叫”“让”をワンセットで機械的に教えるのは今後、再考する必要があると思われる。この受身を表す“让”も「理」性的認識としては存在するが、具体的「事」実としては少数例しかない類型に属するものである。

2-I. 1. 非“我被”型 (162) は日本語の主語が「私」でなく、それに対応して中国語主語が**非“我被”型**になっているものである。日本語の受身と中国語の受身は対応している（既述）。**2-I. 2. “我被”型 (117)** も日本語の主語が「私」であるのに対応して、中国語も受身表現となっているものである。**非“我被”型**が**“我被”型**より40%近く多いのは、今回、調べた結果であるが、今後、事例研究として他のジャンルの翻訳を多く調べることによって、より客観性の高い結果が得られるであろう（既述）。基本的には日本語の受身表現の反映であろうと考えられる。

2-Ⅱ. 受身（日）が非受身（中）になる場合（647）

Ⅱ	順位	中国語表現	『変身』	『ホーム中』	『鹿男』	計	%
受身 （日）	1	主客転換	40	48	89	177	27.4
	2	意識	87	16	62	165	25.5
	3	～される（日）→～する（中）	57	10	50	117	18.1
	4	存在句型“一着”型	16	5	29	50	7.7
	5	その他	6	16	15	37	5.7
↓ 非受身 （中）	6	不訳	12	6	17	35	5.4
	7	“把”字句	3	8	15	26	4
	8	“有”表現	3	2	5	10	1.6
	9	“举行”	1	2	7	10	1.6
	10	状態補語	2	2	4	8	1.2
	11	存在句型 非“一着”型	1	2	4	7	1
	12	“进行”	4	0	1	5	0.8
計			232	117	298	647	100

2-Ⅱ. 1. 「主客転換」になる場合（177）

「瞬介は断られただけでなく、～」『変』242→“他不仅拒绝了瞬介，”《変》145,「あたし、あなたに殺されたって構わない。」『変』375→“你杀了我没关系，～”《変》229,「じろじろ見られていることに気づいたらしく、～」『変』157→“像是注意到我在盯着她，～”《変》93,「よく友達に羨ましがられた。」『ホ』136→“朋友们很羡慕我。”《无家》138。以上は直接受身文（日）が中国語では「主客転換」（＝主語と客語が転換されること。）の表現となる例である（①）。

（さっき初めて会った時、普通の客じゃないとは思ったんだ。以前どこかで会ったような気がして仕方がなかった。）あの事件の時、刑事から写真を見せられたのかな『変』241→“也许是因为拿起事件发生时，警察给我看过你的照片。”《変》145,「その日、好きな子と同じ部活の女子から手紙を渡された。」『ホ』105→“那一天，跟我喜欢的那个女孩同社团的一个女孩递给我一封信。”《无家》107。以上は中国語において間接目的語の主語型受身文の回避が行われ能動文となった例である⁽⁷⁾（②）。

「声を出す間もなく、僕は酒井に襟首を掴まれていた。」『変』110→“话音刚落，酒井抓住了我的衣领。”《変》64,「ライターを持つ手をだれかに掴まれた。」『変』187→“有人抓住了我拿打火机的手。”《変》111,「～、こいつ口ごたえする気かといって頬を叩かれた。」『変』170→“他打我的脸，说，你还敢还嘴，～”《変》101。以上は間接受身文（日）が中国語では「主客転換」した表現となる例である（③）。

「人並みに上司に腹をたてることはあっても、それを態度に表すだけの勇気がないのだ。（中略）だから、「お利口さん」などと呼ばれてしまう。」『変』70→“我有时随大溜

生上司の気、却没有勇气表明态度。(中略) 所以大家叫我“老实蛋”。”《変》40,「～そのチームのファンになれといわれた。」『変』170→“他说,～,你就去当那个队的球迷。”《変》101,「～と尋ねられたので、～」『変』190→“讯问时警察问我有没有保证人之类的,”《変》112,「ようすを聞きたいので、時々会ってほしいといわれる。」『変』363→“他说想问问情况,希望能跟我常见面,～”《変》221。『ホ』は「主客転換」の48例中、「～と言われた」→“说”、“说出”、“交代”、“叫道”(合計12例)や「～と聞かれた」→“问”(2例)、“问到”(1例)、(合計3)、「どこでどうしているのか/～を/どうするのか/聞かれる」→“问”、“问过”、“问到”(合計3例)が比較的多い。特に「～と言われた」→“说”、“说出”、“交代”、“叫道”等の「主客転換」が多いのは特筆すべきであろう。

「～当分は大丈夫だろうと言われた。」『ホ』90→“院方说,应该暂时没问题了。”《无家》92,「さすってあげたり、話し掛けたりしてください」と言われ、みんなで替わる替わるそうした。」『ホ』89→““请摸摸她,或者跟她说说话。”白衣人这样交代后,大家就轮流这么做。”92,「何の音かなと振り返ると、お巡りさんが立っていて、「その毛布の自転車止まりなさい」と言われた。」」『ホ』165→“不清楚是什么声音,回头一看,看到一位警察先生,他叫道:“那辆披毛毯的自行车快停下来。””《无家》175などがその具体例である。“问”“问到”の例には次のようなものがあつた。「～と食の神様に聞かれたら～」『ホ』24→“如果神明在我死前问～”《无家》21,「面談が始まり、先生にどうするか聞かれて、僕は就職する意思を伝えた。」『ホ』118→“煤炭开始,老师问到我打算怎么办,我表达了要就业的想法。”《无家》120,「どこでどうしているのか聞かれ、～」『ホ』20→“哥哥问我在哪里怎么过日子,～”《无家》17。以上は「～と言われた」「～と聞かれた」が「主客転換」になる場合である(④)。

「警察なんかに来られたら迷惑だわ。」『変』352→“警察来了多讨厌,～”《変》214,「本当に来られると～」『ホ』20→“万一哥哥真的来的话～”《无家》17。日本語の自動詞「来る」の受身表現(迷惑の受身)の例である(⑤)。

2-Ⅱ. 2. 「意識」になる場合(165)

○密(日)→粗(中):複雑な表現(日)をより単純な表現(中)にする場合:「水は冷たくも温かくもなく、適度な温度に保たれている。」『変』9→“水不冷不热,温度适中。”《変》4, ○粗(日)→密(中):単純な表現(日)をより複雑な表現(中)にする場合:「恵まれた体躯の主将の場合、～」『鹿』236→“身高占优势的主将、～”《鹿》211。○成句・成語・慣用句(中)にする場合:「じわじわと網が狭められ、追いつめられていった。」『変』78→“网越缩越小,逼得他走投无路。”《変》45, ○説明的表現(中)にする

場合:「彼に促されて隣の部屋に入ると～」『変』162→“我照他说的走进隔壁房间，～”《変》96,「僕は里親に出されずに済んだ。」『ホ』70→“我终于不必给人领养了。”《无家》71。**○語順を変える場合:**「彼らには時間があまり残されていないのだよ。」『変』259→“他们剩下的时间不多了。”《変》156, **○定型表現（中）にする場合:**「そういわれれば～」『変』115→“听他这么说，～”《変》68,「ストレスもアトピーの原因の一つだと病院の先生に聞かされてからは～」『ホ』78→“自从从医生那里听说压力也是引发异位性皮肤炎的重要因素之后，～”《无家》80。以上の下位分類がある。1.「主客転換」になる場合(177)に次いで、2.「意識」になる場合(165)と数は多い。日本語表現と中国語表現の「密」と「粗」の相違、成句・成語・慣用句、説明的表現、定型表現（中）の使用、語順の変更（中）などが日本語の受身表現に対応している。全体の25.5%である。

2-Ⅱ. 3. 「～される（された）」（日）→「～する（した）」[その中国語を日本語にした場合]」（中）になる場合（117）

「あなたに施された手術は画期的なもので～」『変』24→“给你做的手术可以说是划时代的，～”《変》13,「新聞記事を見てわかったと思うが、君の名前も公表はされていない。」『変』59→“看看报上的报道就知道，现在连你的姓名也没公开，～”《変》33,「白い建物は巨大な生き物のようで、僕はそこから生みだされた卵の気分だった。」『変』93→“白色建筑像个巨大的生物，我觉得自己像那儿产出的蛋。”《変》53,「野晒しにされた家具達」『ホ』5→“暴露在外的～各式家具”《无家》2（「意味上の受身文」との相違が問題になる。），「お母さんが毎晩、うなされて～」『ホ』85→“妈妈每天晚上都在呻吟，～”《无家》88,「三年生になりクラス替えが行われ、～」『ホ』111→“升入三年级后重新分班，～”《无家》113,「鉛筆で書かれた手書きの綺麗な文字」『ホ』130→“以铅笔手写的娟秀字眼”《无家》131。これらの日本語の受身表現には話者、聞き手中心の感情移入に効果的なモデルなものが感じられるが、中国語表現は客観的で中立的な表現となっている。それが日中両表現の相違として現れている。

2-Ⅱ. 4. 存在句型（中）“一着”型になる場合（50）

「その手には黒い塊が握られていた。」『変』19→“手里握着个黑色家伙。”《変》10,「彼はカウンターの上に置かれたファイルをちらりと見た。」『変』19→“他瞥了一眼柜台上放着的文件夹，～”《変》10,「壁に沿って、薬品棚やキャビネットが置かれていた。」『変』45→“沿墙放着药品架和橱柜。”《変》25,「～、残り三割のスペースに机と棚が置かれていた。」『変』47→“～、剩下三成摆着书桌子和架子。”《変》26,「ところで新聞には

医師団と書かれていましたね。～?」『変』61→“对了，报上写着医生团队，～?”《変》34,「名刺には嵯峨道彦と印刷されていた。」『変』90→“名片上印着“嵯峨道彦”，”《変》52,「そこには何十本という横線がひかれていた。」『変』165→“～，上面画着几十条横线，”《変》98,「そして今朝その短い生涯を閉じるまで、たしかに彼の表情には幸福感がたたえられているようであった。」『変』380→“他的表情的确像是洋溢着幸福，直到今天早上结束了短暂的生命。”《変》233,「差し押さえ」と書かれた異常に存在感のある黄色いテープがクロス状に張られていて、もう家には入れなくなっていた。」『ホ』→“～，门上交叉贴着印有“查封”字样的、存在感异常强烈的黄色胶带——我们已经不能进入家里了。”6《无家》3,「～，お母さんの横にはそれまで無かった心電図を表す機械が設置されていた。」『ホ』89→“妈妈的身旁放着一台以往从没见过仪器，上面可以显示心电图。”《无家》91,「なんとなく大通りを走り、道路の標識を見て「兵庫」と書かれたほうを目指して走った。」『ホ』163→“不知不觉骑到大马路上。看了道路标识后，我朝着“兵庫”的方向骑去。”《无家》172。

“放着”“摆着”“写着”“印着”“画着”“贴着”などは日本語の受身に対応する表現としてよく見受ける中国語表現であるが、日本語の「～られている」「～られてある」という表現と“一着”型中国語表現が対応することもある⁽⁸⁾。

2-Ⅱ. 5. その他 (37)

「それでも結局キーを渡したのは、俺の体内から発する異常性に圧倒されたからかもしれない。」『変』332→“但还是把钥匙给了我，大概是迫于我体内散发的异常压力。”《変》202,「そんな厳しい環境に追い込まれ、お父さんは戦っていた。」『ホ』97→“在那样严苛的环境逼迫下，爸爸孤军奋战。”《无家》99,「～光学式のカメラでは隠せているものが、一度デジタルに分解されたあとの画像には映ってしまう」『鹿』313→“被光学式相机隐藏的东西，会呈现在经过数字分解的画面上。”《鹿》279。“迫于”や“在～逼迫下”といった表現は中国語で普通に用いられる表現であるが、中文日訳の際に「迫られて」と直訳しておけば済む表現でない。日本語から中国語表現を見た際に、意識（日→中）と言うには言い過ぎである。“经过～”も同様のことが言える。これらは他のカテゴリーには含まれるとは思われないので、**その他**に分類した。(強いて**5. その他**を設けないと言うのであれば**2. 意識**に含めるのが妥当である。)

2-Ⅱ. 6. 「不訳」になる場合 (35)

「だが俺はこの家から非常に強いエネルギーが発せられていることに気づいていた。」

『変』241→“在这栋房子里，我感觉到一股强大的能量。”《変》145,「同時に彼女から送られてきた信号が、頭の奥深くに侵入していくようだった。」『変』250→“同时，她身上的信号似乎也在源源不断地浸入我的头脑最深处。”《変》150,「四位で託されたたすきを受け取り、僕は走りだした。」『ホ』108→“我接下第四棒手中的接力棒后发足狂奔。”《无家》110。いずれも動詞が省略されているものである。「不訳」とは文字通り、「訳さない」ことを指すが、原文の日本語箇所を「訳さない」中国語にしたほうが中国語として「冗長性」が感じられず、そのほうが「適切な」中国語と訳者が思ったために行われた操作であろう。逆に「私はテニスが好きです。」のように日本語表現のほうが「不訳」になる場合もあるから、今後、日本語→中国語、中国語→日本語両方向で表現の「不訳」について調べ、考察する必要があるであろう。

2-Ⅱ. 7. “把” 字句になる場合 (26)

「別の部屋に連れて行かれると、～。」『変』129→“她把我带到另一个房间，～。”《変》76,「先程の家に戻ると、中へ案内された。」『変』240→“回到我刚才去过的房子，她把我引进屋。”《変》144,「昨日、別の研究グループに移らされたわ。」『変』267→“昨天他们把我转到了别的研究小组，～。”《変》161,「～、更衣室みたいな所に連れて行かれた。」『ホ』13→“她把我带到一个像是更衣室的地方，～。”《无家》11,「その喧嘩相手の友達は何で呼び出されへんねんと～」『ホ』80→“为什么～，却没有把跟我打架的朋友也一起叫去？”《无家》84,「喧嘩をするたびにお母さんは泣かされていた。」『ホ』87→“每次打架，爸爸都会把妈妈惹哭。”《无家》89,「～腕を捲られて～（注射痕が無いか確認された）」『ホ』166→“（警察）～，还把我的袖子卷起来（确认手上有没有注射痕迹）。”《无家》175。「連れて行かれる」は“带到”など“把”字句にもなるし、受身文にもなる。拙著（2007）では主格転換と“被”字句との使い分けについて“問”や“跟到”をめぐって考察した⁽⁹⁾が「被害・不本意」の意味を表すかどうかではなく「名詞のランキング」の面から考察すると日本語では3種の名詞はランキングを作っている（一人称代名詞＞人間名詞＞無生物名詞⁽¹⁰⁾）。このことは日本語が受身文となり、（日本語と違い、そうした制約のない）中国語が“把”字句になるひとつの根拠となるであろう。

2-Ⅱ. 8. “有” 表現になる場合 (10)

「～。そして無論女性的魅力にも恵まれていると思う。」『変』157→“当然，她很有女性魅力——。”《変》93,「俺はこの女を抱きしめたい衝動に駆られた。」『変』251→“我有一种想拥抱她的冲动，～。”《変》151,「ドアを開けてしまいたい衝動にかられる。」『変』

→301 “～，有一种想拉开门一探究竟的冲动。”《変》183,「かなりの距離を走り疲れていたの、ご飯を食べ終わるとすぐに眠気に襲われた。」『ホ』164→“由于骑了相当长的距离，已经疲惫不堪，一吃晚饭，马上就有浓浓的睡意袭来。”《无家》174。2. 意訳や5. その他に含めるには、数が10例とまとまってある。それで8. “有”表現になる場合を設けた。受身表現（日）が“有”表現になる場合については今後、詳しく研究していく必要がある。

2-Ⅱ. 9. “举行”になる場合（10）

「先週、病院の事務本館で共同記者会見が行われた。」『変』83→“上周在医院的会议室举行了记者招待会，～。”《変》47。定型化としてもよい、よく見受ける型である。日本語の受身文が中国語の“存在句型”になる場合には中国語の“放”“写”“印”“掛”などがある。“召开”“发现”“举行”なども日本語の受身文に対応して使用される⁽¹¹⁾。

2-Ⅱ. 10. 状態補語になる場合（8）

「身体を起こそうとした。ところが全身が鉛を埋めこまれたように重い。」『変』14→“我想起身，全身重得像灌了铅。”《変》7。「もしまたきたらやばいので、先程まで散々投げられた石を拾って確保しておいた。」『ホ』35→“万一他们又折返就糟了，所以我将刚刚仍得散落一地的石头捡起来保管。”《无家》33,「～、それらの条件が重なり追い込まれていく。」『ホ』141→“这一条条逼得我无路可退。”《无家》145,「堀田は困ったような笑みを浮かべ、叩かれるに任せ身を揺らしている。」『鹿』215→“堀田露出困惑的笑容，任凭身体被拍得摇来摇去。”《鹿》192。この場合、日本語と中国語では表現の順序が反対で、日本語では基本的に連用修飾語で「どのように」であるかを述べてから述語を述べるが、中国語の場合は述語を述べてから、その状態を補語として述べるという表現形式になっている。

2-Ⅱ. 11. 存在句型（中）非“一着”型になる場合（7）

「移植...僕の頭に誰かの脳が移植されたのですか。」僕は両手で頭を抱えた。」『変』51→“移植...我的脑袋里移植了谁的脑吗？”《変》29,「～、「差し押さえ」と書かれた異常に存在感のある黄色いテープがクロス状に張られていて、もう家には入れなくなっていた。」『ホ』5→“～、门上面交叉贴着印有“查封”字样的存在感异常强烈的黄色胶带——我们已经不能进入家里了。”《无家》3,「まきふん公園は結構大きな公園だったけど、トイレは設置されていなかった。」『ホ』38→“虽然螺旋大便公园是座相当大的公园，可是

却没有设置厕所。”《无家》36。受身表現（日）が“一着”型にならない非“一着”型の場合である。

2-Ⅱ. 12. “进行”になる場合（5）

「インタビューと呼ばれるテストは、別室で行われることになった。』『変』168→“被称为“采访”的测试在别的房间进行，～。”《変》99。定型化としてもよい例である。9.

“举行”になる場合と同類の例であろう。

3. 結語

以上、受身表現（日）がどのような中国語表現と対応するかを分類し、具体的に考察してきた。2-Ⅰ. **受身（日）が受身（中）になる場合**では（今回の事例調査、事例研究では）“被”字句が90%近くを占め、圧倒的に多く使用されることが判明した。「意味上の受身文」については2-Ⅱ. **受身（日）が非受身（中）になる場合**の3.「～される（された）」（日）→「～する（した）[その中国語を日本語にした場合]」（中）になる場合との相違が不明瞭な場合があることが注意を引く。2-Ⅱ. **受身（日）が非受身（中）になる場合**については1.「主客転換」になる場合、①直接受身文（日）が中国語では「主客転換」になる場合や②中国語が間接目的語の主語型受身文の回避を行い「主客転換」になる場合、③間接受身文（日）が「主客転換」になる場合、④「～と言われた」「～と聞かれた」が「主客転換」になる場合、⑤日本語の自動詞の受身表現（迷惑の受身）が「主客転換」になる場合—などに分類されることが判明した。3.「～される（された）」（日）→「～する（した）[その中国語を日本語にした場合]」（中）になる場合については、日本語の受身表現には話者、聞き手中心の感情移入に効果的なモーダルなものが感じられるが、中国語表現は客観的で中立的な表現となっていることに注意する必要がある。広い意味での日本語のモーダルな表現とそれに対応する非モーダルな中国語表現は両言語表現の本質的な相違に関係しているように思われる。今後の研究の深化が望まれる。6.「不訳」になる場合、8.「有」表現になる場合も更に用例を集めて事例研究を行い、考察する必要がある。

全体としては本考察の結果、（三冊の現代日本文学作品〈いずれも流行作家の作品ないしはベストセラーとなった作品〉とその中国語訳を調べた結果としては）日本語受身文が中国語受身文になるパーセンテージは320例/967例=33.1%であること、換言すれば日本語受身文が中国語受身文にならないパーセンテージは647例/967例=66.9%であることが判明した。教育的側面から言えば、今後の日本語教育、中国語教育はこの点に留意して、よりきめ細かい教育を行う必要がある。具体的には、中国語母語日本語学習者は間接目的語の主

語型受身文の回避を行いやすいこと、「～と言われた」「～と聞かれた」という日本語表現が産出しにくいことに留意して日本語教育を行う必要であり、日本語母語中国語学習者は“被”字句を多用しがちなことが予想されるので、適宜、「主客転換」の場合の分類とその例などを提示し、中国語教育を行うこと等が必要とされる。

【付記】 本稿は日中対照言語学会第26回大会（2011年度冬季大会 2011年12月18（日））で「受身表現について－日本語との対照から見た考察－」の題で口頭発表したものをもとにしている。

【注】

- (1) 刘月华等（2001）p.754
- (2) 杉村（2006）pp.284-285
- (3) 马庆株（2006）p.230
- (4) 王志军（2004）p.170
- (5) 刘月华等（2001）p.760
- (6) 邓守信（2006）pp.86-87
- (7) 張麟声（2001）pp.131-135
- (8) 拙著（2007）pp.62-63
- (9) 拙著（2007）pp.57-61。また、pp.79-80,p.100も参照のこと。
- (10) 張麟声（2001）p.123
- (11) 拙著（2007）pp.61-64,p.80

《引用文献・参考文献》

- (1) 刘月华等（2001）《实用现代汉语语法》商务印书馆
- (2) 杉村博文（2006）《汉语的被动概念》，邢福义主编（2006）《汉语被动表述问题研究新拓展》华中师范大学出版社
- (3) 马庆株（2006）《主客态度与汉语的被动表述》，邢福义主编（2006）《汉语被动表述问题研究新拓展》华中师范大学出版社
- (4) 王志军（2004）《英汉被动句认知对比研究》上海外语教育出版社
- (5) 邓守信（2006）《从第二语言习得看被动句》，邢福义主编（2006）《汉语被动表述问题研究新拓展》华中师范大学出版社
- (6) 張麟声（2001）『日本語教育のための誤用分析－中国語話者の母語干渉20例－』スリーエーネット

トワーク

- (7) 藤田昌志 (2007) 『日中対照表現論一付:中国語を母語とする日本語学習種の誤用について』
白帝社

《用例採取書目》

- 『変身』 東野圭吾 講談社 1998 年 6 月 30 日 講談社文庫
《変身》 赵峻译 南海出版公司 2009 年 7 月
『ホームレス中学生』 田村裕 ワニブックス 2007 年 12 月 25 日
《无家可归的中学生》 吴季伦译 上海译文出版社 2009 年 3 月
『鹿男あをによし』 万城目学 幻冬社 2007 年 12 月 30 日
《鹿男》 涂愫艺译 世纪出版集团 上海人民出版社 2009 年 8 月